

私たちの環境重点テーマ -Our Environmental Priority Themes-

「富士通フロンテックグループ環境方針」に基づき、社会と協同し、豊かで美しい地球環境と持続可能な社会の発展を目指します。

富士通フロンテックグループは、気候変動問題や生物多様性保全など企業をとりまくグローバルな環境課題の動向や、富士通グループの環境方針および中長期環境ビジョンに基づき、「富士通フロンテックグループ環境方針」を定め、本方針に基づいた「富士通フロンテックグループ環境行動計画」を策定し、実践しています。

「第8期環境行動計画」（2016～2018年度）では、設定したすべての目的・目標を達成しました。第9期（2019～2020年度）においては、「SDGs（持続可能な開発目標）」を追加するなど、幅広い活動項目を設定し取り組んでいきます。

富士通フロンテックグループ環境方針

理念

富士通フロンテックグループは、富士通グループ環境方針を順守し『環境にやさしい企業活動』を基本理念として、地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の1つであると認識して推進します。

ICT企業としてそのもてるテクノロジーと創造力を活かし社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を順守するとともに、自主的な地球環境保全活動に努めます。

さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるようすべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求していきます。

行動指針

- ① 製品・サービスのライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- ② ICTプロダクトとソリューションを通じ、お客さまや社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
- ③ 省エネルギー、省資源および3R（リデュース・リユース・リサイクル）を強化したトップランナー製品を創出する。
- ④ 活動、製品およびサービスが環境に与える影響を常に認識し環境関連法規制、その他の要求事項、自主基準等を順守しCSRを果たす。
- ⑤ 活動、製品およびサービスにかかわる環境影響評価結果に基づき、汚染の予防および継続的な改善を図る。
- ⑥ 『社会への貢献』と『自らの事業活動』において、環境目的・目標の設定、見直しを行い、全員参加で一人ひとりが気候変動対策や生物多様性保全をはじめとした地球環境保全に努める。

目次	頁
私たちの環境重点テーマ	01
ごあいさつ	02
会社概要／事業体制	03
SDGsへの取り組み	04
事業活動および環境負荷	05
グローバルプロダクトビジネス	06～07
ソリューション・サービスビジネス	08～09
環境行動計画	10
活動トピックス	11
社会貢献活動	12
環境パフォーマンス／環境会計	13
営業拠点・事業所・グループ会社	14

報告範囲

本報告書に記載した環境関連データは、富士通フロンテック(株)本社・東京工場、新潟工場、熊谷サービスソリューションセンター大宮ソリューションセンターおよび(株)富士通フロンテックシステムズなどを対象範囲としています。なお、本社・東京工場のデータの中には、(株)ライフクリエイトのデータも含まれます。

対象期間

2018年度の活動を中心に報告しており、記載しているデータはその実績です。ただし、それ以外の期間の内容も一部含まれます。

コミュニケーション（編集後記）

気候変動や生物多様性、水資源はもとより、昨今は廃プラスチックによる海洋汚染がクローズアップされるなど、環境にかかわる報道が連日のように流れる時代となりました。

また、ESG（環境・社会・ガバナンス）やSDGsに代表される企業の環境への取り組みに対する世の中のニーズがますます強まる中当社グループは『環境にやさしい企業活動』という基本理念の下環境経営を推進しており、その報告も含めて「環境報告書2019」を発行させていただきました。

今後毎年1回の発行を予定していますが、ステークホルダーの皆さまからのご意見・ご提案を参考にしながら、さらに意義のある充実した内容となるよう努めていきます。

発行 2019年10月
 発行責任者 代表取締役社長 川上 博彦
 企画・編集責任者 環境管理センター長 安藤 丈己